

2026年7月16日

各位

SBIホールディングス株式会社
Ondo Finance

米国の大手株式トークン化プラットフォーム Ondo Finance との戦略的提携に関するお知らせ

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝、以下「当社」）は、株式等の金融商品のトークン化をグローバルに手掛けるOndo Finance（本社：米国ニューヨーク州、CEO：Ian De Bode、以下「Ondo」）と、オンチェーン金融の領域において戦略的に提携いたしましたので、お知らせいたします。

本提携を通じて両社は、日本株式をはじめとする日本のアセットをトークン化し、Ondoのオンチェーンプラットフォームで提供するとともに、Ondoのトークン化商品をSBIグループのエコシステム全体で提供することを目指します。またそれらのトークン取引におけるオンチェーン決済および担保としてSBIグループが発行する信託型円建てステーブルコインJPYSCの活用を検討します。

■ 本提携の背景

近年、株式・債権・投資信託・不動産等の実物資産や金融商品を、ブロックチェーン上で記録・移転・決済できる形にするトークン化の動きが世界的に拡大しています。資産のトークン化は、取引の効率化、透明性の向上、決済の高度化、グローバルな投資アクセスの拡大につながる可能性があり、次世代の資本市場インフラとして注目されています。

Ondoは、実物資産および金融商品のトークン化を手掛け、伝統的金融と分散型インフラを接続することで、機関投資家水準の金融商品をオンチェーン上で提供することを目指すブロックチェーンベースのプラットフォームです。特に、同社が提供するOndo Stocks（旧称Ondo Global Markets）は、米国上場株式およびETFを裏付けとするトークン化商品の発行・償還プラットフォームとして展開されており、米国外の投資家に対して、対象資産へのアクセスをオンチェーンで提供する仕組みを有しています。

日本は世界有数の資本市場を有しており、日本株式などへのグローバルな投資需要も高まっています。一方で、海外投資家による日本へのアクセスや、オンチェーン上での円建て決済・担保活用については、さらなる利便性向上と市場インフラの整備が求められています。

SBIグループは、証券、デジタルアセット、取引所、決済関連領域におけるグループ各社の顧客基盤・事業基盤を活用し、次世代金融インフラの構築に取り組んできました。今回のOndoとの提携を通じて、日本資産のトークン化およびオンチェーン上での活用を推進し、国内外の投資家に対してより多様で利便性の高い金融サービスの提供を目指します。

■ 本提携における主な取り組み

- ・日本資産のオンチェーンでのトークン化およびOndoのプラットフォームでの提供
- ・Ondoのトークン化資産の決済および担保における、SBIグループが開発する信託型円建てステーブルコイン「JPYSC」の活用
- ・SBIグループエコシステムを通じたOndoのトークン化商品の展開
- ・両社の顧客基盤・チャネル・戦略的パートナーを活用した相互連携

なお、各取り組みの具体的な提供内容、対象顧客、提供地域、開始時期等については、関係法令・規制および必要な手続き等を踏まえ、今後決定してまいります。

■ 両社のコメント

【SBIホールディングス 代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝】

「トークン化株式の市場で世界最大級のシェアを誇るOndo Financeは、RWAのトークン化の領域で、世界をリードする企業の一つだと認識しています。SBIグループの掲げるデジタルアセットのグローバルコリドーに向けた極めて重要なパートナーとして、様々な取り組みを早急に実施できればと考えております。」

【Ondo Finance CEO : Ian De Bode】

「日本は世界で最も洗練された資本市場の一つであり、SBIグループはその中心的な存在です。本提携は、日本資産をオンチェーン化し、日本とグローバルなトークン化経済を接続するための重要な道筋を示すものです。」

■ 今後の展望

SBIグループとOndoは、本提携を通じて、日本の資本市場とグローバルなトークンエコノミーをつなぐ架け橋となることを目指します。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126